

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学自然科学系 人類紀巨大災害科学分野 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者を対象に、若手教員一括採用育成制度「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」を実施します。この制度は、本学においてそれぞれの専門分野の研究を深めると同時に、意欲をもって異分野横断研究を展開する研究者の育成を目的としたものです。

若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行います。各分野での専門性を中心とした1次選考、役員による総合的な観点による2次選考を実施し、採用者を決定します。採用された教員には専門分野に応じた学系等に所属するとともに、本学の研究推進を担う研究統括機構に兼務していただき、本学の新たなフラッグシップとなりうる新しい異分野融合研究の萌芽をもたらすための活動に従事していただきます。

公募分野

「環境法」、「経営学（組織行動論）」、「ジェンダー法」、「システム生化学、応用生物化学」、「生産工学、計測工学、または生体医工学」、「人類紀巨大災害科学」、「免疫学分野」、「統合口腔感覚免疫学」、「検査技術科学分野」、「摂食行動制御工学」、「代謝分析・解析学」、「オミックス組織再生学分野」

募集人数

未定

本公募はその一環として人類紀巨大災害科学分野担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教1名（任期の定めなし）

2. 採用予定日

令和7年4月1日

3. 所属

自然科学系地球・生物科学系列

ただし、担当する自然科学系地球・生物科学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、採用時から原則として3年間、研究統括機構に兼務してスイングバイ・プログラム採用教員として活動していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科] 理学部・大学院自然科学研究科

[職務内容]

1. 研究

地層、岩石、化石など野外から得られる情報を基に、主に第四紀の海水準変動、氷期や間氷期などの極端な気候変動、海洋酸性化などの環境変動、また、巨大噴火、津波、地震などの巨大自然現象に関する研究を推進していただきます。災害・復興科学研究所など学内の研究者と共同して、第四紀の巨大自然現象を将来の災害モデルとして研究し、新たな災害科学の地平を切り開く研究をリードしていただきます。

2. 教育

理学部理学科地質科学プログラムと大学院自然科学研究科環境科学専攻（地球科学コース）を担当して頂きます。

[専門分野]

地球惑星科学およびその関連分野、環境解析評価およびその関連分野、環境保全対策およびその関連分野（特に、層位・古生物学、堆積地質学、構造地質学、火山地質学、岩石鉱物学、地震地質学、有機地質学、微生物地球化学、同位体地質学などで環境変動や巨大自然現象の解明に寄与する分野）

[備考]

- ・PIとして活動していただきます。
- ・着任後、原則3年間は研究統括機構の兼任教員としてスイングバイ・プログラムに参加して頂きます。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後10年以内の者（着任日までに学位取得見込の者を含む）
- (2) スイングバイ・プログラムの趣旨を理解し、意欲をもって取り組むことのできる者
- (3) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地 五十嵐キャンパス
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態
 - ・勤務時間：基本的に専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分）。専門業務型採用労働制を適用しない場合は、1週間の勤務時間38時間45分、1日の勤務時間8時30分～17時15分（休憩時間12時00分～13時00分）の固定労働時間制となります。
 - 裁量労働制とするか固定労働時間制とするかは、採用時に希望を伺います。
 - ・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 研究室の使用 有（22m²程度）

7. スイグバイ・プログラム採用教員としての兼務期間の活動

採用者には分野を越えた一括採用制度であるスイグバイ・プログラムを活かすため、着任後3年間は研究統括機構に兼務していただき、次のような活動を求めます。

- ・部局・分野を越えたネットワークを主体的に構築していくこと。
- ・構築したネットワークを活かして異分野交流活動を行い、その成果を学内外に広く発信すること。

上記の実現のため、以下のような活動等があります。

- ・採用者同期会や異分野交流会の企画・運営
- ・年に一度以上の学長・理事との意見交換会
- ・大学での教育方法に関する研修
- ・スイグバイ・プログラムからのスタートアップ研究資金の配分

なお、本学には次のような研究支援体制があり、積極的な活用を期待します。

- ・全学的な機器共用制度
- ・科研費等の外部資金獲得サポート
- ・定期的な異分野交流会
- ・その他、教育研究活動のための研修

8. 応募書類

※ JREC-IN Portal からの Web 応募を行ってください。Web 応募の難しい特段の理由がある場合は、郵送での応募が可能です（Web 経由で送付できない業績がある場合など）。

※ 本公募では業績リスト・外部資金獲得状況・主要論文の確認に researchmap を使用しません。

(1) 履歴書：写真貼付のこと

※履歴書の「賞罰」の欄には、受賞、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、該当する場合は、その原因となった具体的な事由について記入してください。「賞罰」の欄が無い場合は、備考等に賞罰の有無とその事由を記載してください。

万が一、経歴に虚偽の申告があった場合は、採用取消や懲戒処分となる場合があります。

(2) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ1,600字～2,000字程度にまとめたもの

(3) 応募者について意見を聞くことのできる方2名の氏名・電子メール連絡先

(4) 学位論文、査読付き原著論文（Science Citation Indexに登録されている雑誌には*を付記すること）、総説、著書、国際会議発表論文、特許・実用新案（出願中を含む）等についてのリスト。それぞれに、著者名、論文名、雑誌名、巻数、最初と最後のページまたは論文番号、および発表年（西暦）を記載してください。また、Web of Science Core Collectionの論文についてのJCR（Journal Citation Reports）のインパクトファクターと四分位数（Q1-Q4）も書いてください。

(5) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記すること）

(6) 主要論文（業績）3編以内の別刷(PDF)あるいはコピー

(注1) 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

(注2) 郵送の場合は、応募書類を封筒に入れ「スイグバイ・プログラム（応募する専門分野名）教員公募 応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便（受け取り確認が

できる方法)にて10.に示す送付先にお送りください。

(注3) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

(注4) 「Web 応募」で添付できるファイル数は5つまでとなります。上記応募書類をZIP ファイルにまとめるなどして添付してください。

9. 選考スケジュール

(1) 応募締切：令和6年8月19日(月) 必着

(2) 第1次選考：令和6年8月下旬～9月下旬 書面審査、面接審査(リモート面接の場合あり)

(3) 第1次選考結果通知：令和6年10月

(4) 第2次選考：令和6年10月～11月(予定) 役員による面接審査(リモート面接の場合あり)

(5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知

※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問い合わせは原則として電子メールでお願いします。

(1) 送付先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学 自然科学系 総務課 学系庶務係

電話 025-262-6823

E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

※もし郵送元が海外の場合は、国際郵便またはFedExなどの国際的な宅配便を使用してください。

(2) 問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学 自然科学系 総務課 学系庶務係

電話 025-262-6823

E-mail skei-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先

新潟大学教育研究院自然科学系(理学部)教授 小西博巳

電話 025-262-6187(直通)

E-mail hkoniishi@geo.sc.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター(<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>)を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。